

令和元 年度 第4回四万十市子ども・子育て会議 議事録要旨

- 【日 時】 令和2年2月5日（水）午後1時30分～
- 【場 所】 四万十市役所3階 防災対策室
- 【出席委員】 9名
岡会長、國久委員、宮地委員、刈谷委員、山沖委員、吉藤委員、福留委員、岡村委員、山崎委員
- 【欠席委員】 5名
宮本委員、須山委員、武市委員、高松委員、宮崎委員
- 【事務局】 子育て支援課 西澤課長、竹本補佐、阿部企画係長、田村保育係長、名本支援係長
今上管理主幹 梶ぎょうせい 渡辺

【要 旨】

1 開会

(1) 会長挨拶

(2) 会議の成立

子ども・子育て会議条例第6条第2項に基づき会議の成立を報告。

(3) 進行の交代

子ども・子育て会議条例第6条第1項に基づき会議の進行を会長に交代。

2 議事等

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画に係るパブリックコメントの実施について

・事務局（阿部）よりパブリックコメントの実施状況について報告。

【主な説明内容】

- ・令和元年12月18日から市役所、西土佐支所、HPで1カ月間パブリックコメントを実施した。
- ・意見はなかったが、関心の高い子育て部門の計画でもあり、周知の在り方など今後の検討課題であると考えている。

(2) 子ども・子育て検討会の実施内容について（資料①）

・事務局（企画係長）より第1回子ども子育て検討会意見交換会の内容を資料①を基に報告。

【主な説明内容】

- ・待機児童の発生の現状と対応、延長保育や一時預かりの取組み、文化複合施設でのキッズスペース、ファミリーサポートセンターの利用状況と課題などについて意見をもらった。計画本文に影響のあるものはなかったが、必要に応じて文面などは直している。
- ・次回検討会は食育をテーマに2月27日実施予定。

(3) 第2期子ども・子育て支援事業計画について（資料②及び②補足、③）

・事務局（企画係長）より資料②補足資料を基に第2期計画の変更点、最終案の説明。

【主な説明内容】

- ・p8、社会動態の推移をH30年の最新データに置き換えたところ、増加率が大幅に下がったため文面を修正。
- ・p19、(3) 第1期計画のH27年度からの主な取組みについて挿入。
- ・p25、(2) 教育の確保方策で中村幼稚園の定員の見直しによる数字の変更。

- ・ P26、令和2年度末に認可外保育所の閉所の申し出があり、文章の追加、定員数等見直し。
- ・ P27③④、P29 国の指針を参考に追記。
- ・ P36、ニーズ調査を基に病児・病後児保育事業の量の見込み、確保方策の数値の記載。
- ・ P40、各取り組みの数値化が難しく指標の掲載の見送り、P53 第2節(2) 検証・評価の実施で進行管理して検証・評価を行うことを追記。

■出された意見等

会長	p 27③教育・保育の質の確保及び向上として公立・私立にかかわらず全ての教育・保育に関係する職員が一体的な事業の実施が出来るよう合同研修の開催などを検討するとあるが、市内の施設という意味か。
事務局（企画係長）	0～5歳までの保育の取組みを民間でも公立でも始めようという中で、そういった取組みが必要ではないかということで記載している。
会長	数値のところは必要に応じて変更している部分であるが、意見はないか。
委員	p 27④関係機関との連携のところ、地域型保育事業と保育所等の連携についても意見交換などにより十分な情報共有が図れるよう取り組むとあるが、どのような形を想定しているか。
事務局（保育係長）	地域型保育は低年齢児が主になっており、連携施設として公立保育が担っている。もう少し保育所と地域型保育所で連携、ネットワークづくりを図りたいと考えている。
会長	p 50の現状と課題の部分にニートやひきこもり、不登校、いじめとあり、すべての児童・生徒が適切な教育の機会が得られるようにとある。学校での不登校がニートになり、全国で60万人いると聞いている。おそらく四万十市にもいるのではないと思うが、どのような取組みがあるのかお聞きしたい。
事務局（子育て支援課長補佐）	市全体の中では福祉事務所、社会福祉の方で引きこもりのきっかけとなる不登校に関する機関の会議が先日初めて開かれ、関係部署がどのような関わりが出来るのかの協議を始めたところ。子どもの分野に関しては、p 52の困難を抱える家庭への支援というところに入ってくると思う。
事務局（子育て支援課長）	ニート、ひきこもりに関しては数年前まで福祉事務所に心の相談窓口があったが、専門職が不在で通常業務の中に取り込む形になっており、施策としては出来ない。子どもの部分より大人になってからの方がウエイトは大きく、重点を置くのは地域福祉計画の方となり、どこまで反映できるかというところ。計画の中で子どもに係る部分では、少し弱い「困難を抱える家庭への支援」として取り組みが入っている。不登校は教育委員会が中心となり、教育相談体制の充実としてp 46上から2つ目の丸印に記載している。
会長	関係機関の連携というところで漏れのないようにしてもらいたい。「大きく咲かそう子どもの笑顔」をスローガンとして掲げており、小中学校の引きこもり、不登校の子どもを基本に据えて関係機関で連携を取って子育て、まちづくりを進めていくのが本当の施策ではないかと思う。
事務局（子育て支援課長）	ニートやひきこもりへの取組みとしては、関係機関と連携を取っていく。
会長	計画については承認ということでよろしいか。
～意見なし～	

- ・事務局（企画係長）より表紙案の提示、資料③により概要版のイメージの説明。

【主な説明内容】

- ・前回作成した概要版は文字が多く見直しをする。解り易いパンフレットのような形で全8pとする予定。

■出された意見等

各委員	表紙の絵はお父さん、お母さん、子どもという理想の家族の形であり、今は父子、母子家庭や多様な家族の形態がある。サブタイトルにも「大きく咲かそう子どもの笑顔」とある。子どもだけとか、街全体、近所など色々な人で地域で子どもを支えるような絵が良いのではないか。（複数委員より同様の意見）
事務局（子育て支援課長）	今の表紙案は確かに理想の様に見えるかもしれない。地域で支える子育て又は子どもの笑顔を中心とした形になるよう（株ぎょうせいと調整する。
委員	概要版を委員が見るのは出来上がったものになるのか。
事務局（子育て支援課長）	表紙や概要版の案を郵送してご意見をいただけるようにすることは可能である。
委員	事務局にお任せすることで良い。
会長	今日の意見を基に事務局の方で修正するということが良いか。
	～意見なし～

(4) 令和2年度の子ども・子育て会議の開催予定について

- ・事務局（企画係長）より次年度以降の会議の開催予定の説明。

【主な説明内容】

- ・令和2年度、3年度に年間2回を開催予定とする。
- ・令和2年度は5月末～6月頃に元年度の取組みと2年度の事業予定などを協議、1～2月頃には子ども子育て計画や保育計画、整備計画の見直しの協議等を予定。

- (5) その他
特になし

3 閉会

本年度最後の会議のため、子育て支援課長あいさつ後に閉会となる。